



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月9日

上場会社名 株式会社MS-Japan 上場取引所 東
 コード番号 6539 URL https://company.jmsc.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 有本 隆浩
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 山本 拓 TEL 03-3239-7373
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日—
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	2,812	—	1,193	—	1,225	—	831	—
2021年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 320百万円 (—%) 2021年3月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	33.29	33.28
2021年3月期第3四半期	—	—

2021年3月期第4四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、2021年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	9,902	9,325	94.0
2021年3月期	10,158	9,380	92.1

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 9,306百万円 2021年3月期 9,360百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2022年3月期	—	0.00	—		
2022年3月期（予想）				15.00	15.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,928	16.6	1,549	25.0	1,486	△7.8	988	△8.7	39.56

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	24,985,800株	2021年3月期	24,985,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	449株	2021年3月期	449株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	24,984,911株	2021年3月期3Q	24,946,298株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
(必要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナワクチンの接種や治療薬の開発が進み、社会経済活動の正常化に向けた期待感が高まる一方、足元では新たな変異株の出現による感染再拡大が懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

国内の雇用情勢については、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、厚生労働省が公表した2021年12月の有効求人倍率は1.16倍となりました。（「一般職業紹介状況（令和3年12月分）について」厚生労働省調べ）

このような経済環境の中、当社グループの人材紹介事業の売上高については、企業の求人需要の回復等に伴い、需要変動に合わせたマッチング体制を構築した結果、精度の高いマッチングを実現したことにより紹介実績が堅調に推移しました。また求職者については、弁護士、公認会計士、税理士等の専門性の高い人材及び管理部門職種等の紹介実績がともに伸長し、売上高が増加しました。

またメディア売上高については、BtoBプラットフォーム「Manegy toB」での資料請求数の伸長、6月、8月及び11月のオンラインイベントの開催により前年比で増加となりました。

販売費及び一般管理費については、BtoBプラットフォーム「Manegy toB」のマーケティング施策の実施及び人材紹介事業の求職者の登録獲得に係る広告宣伝を行ったことにより増加しております。なお人材紹介事業の新規登録者数については、11,892人と想定通りの登録進捗となっております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,812,461千円、営業利益は1,193,033千円、経常利益は1,225,469千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は831,835千円となりました。

当社グループは、前第4四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しております。ご参考までに、当第3四半期連結累計期間の連結経営成績と前第3四半期累計期間の個別経営成績の比較情報につきましては、売上高の構成割合とともに以下のとおり記載いたします。

(単位：千円)

売上高構成	紹介実績	前第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	前年同期 増減率 (%)
人材紹介 売上高	管理部門人材(注)3. 紹介実績	1,801,536	1,953,116	8.4
	士業人材(注)4. 紹介実績	547,932	654,777	19.5
	小計	2,349,469	2,607,893	11.0
メディア売上高(注)5.		76,915	183,662	138.8
その他売上高等(注)6.		2,813	20,904	643.0
合計		2,429,198	2,812,461	15.8

- (注) 1. 上記の前第3四半期累計期間の売上高は、個別経営成績を記載しております。
 2. 上記の%表示は、前第3四半期累計期間の個別経営成績と比較した増減率を記載しております。
 3. 管理部門人材とは、管理部門(経理、財務、人事、総務、法務、経営企画等)に対する紹介を対象としております。(士業人材の紹介実績は除く)
 4. 士業人材とは、弁護士(司法試験合格者及び司法修習生含む)、公認会計士(会計士補及び公認会計士試験合格者を含む)、税理士(未登録含む)を対象としております。
 5. メディア売上高とは、「Manegy(マネジー)」における広告収益等を対象としております。
 6. その他売上高等は、返金負債として収益を認識していない金額を控除しています。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産につきましては、現金及び預金が689,886千円増加しましたが、保有株式の時価下落等により投資有価証券が380,584千円、債券の償還により有価証券が500,000千円減少した結果、前連結会計年度末に比べ256,757千円減少し、9,902,070千円となりました。

負債につきましては、前述の保有株式の時価下落等により繰延税金負債が208,065千円減少した結果、前連結会計年度末に比べ202,480千円減少し、576,271千円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益831,835千円を計上しましたが、配当金の支払いを実施したことにより利益剰余金が374,768千円、その他有価証券評価差額金が511,132千円減少した結果、前連結会計年度末に比べ54,276千円減少し、9,325,798千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想につきまして、2021年5月12日付で公表しました通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,380,887	7,070,773
売掛金	137,668	171,035
有価証券	1,000,000	500,000
その他	130,312	48,736
流動資産合計	7,648,867	7,790,545
固定資産		
有形固定資産	53,671	46,882
無形固定資産	206,249	197,305
投資その他の資産		
投資有価証券	2,116,730	1,736,146
その他	148,910	146,793
貸倒引当金	△15,601	△15,601
投資その他の資産合計	2,250,039	1,867,337
固定資産合計	2,509,959	2,111,525
資産合計	10,158,827	9,902,070
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	255,319	117,894
賞与引当金	82,668	53,383
その他	227,522	399,817
流動負債合計	565,510	571,095
固定負債		
繰延税金負債	213,241	5,175
固定負債合計	213,241	5,175
負債合計	778,752	576,271
純資産の部		
株主資本		
資本金	586,333	586,393
資本剰余金	1,232,271	1,232,331
利益剰余金	6,825,474	7,282,542
自己株式	△579	△579
株主資本合計	8,643,500	9,100,688
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	717,063	205,930
その他の包括利益累計額合計	717,063	205,930
非支配株主持分	19,511	19,180
純資産合計	9,380,075	9,325,798
負債純資産合計	10,158,827	9,902,070

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	2,812,461
売上原価	350
売上総利益	2,812,111
販売費及び一般管理費	1,619,077
営業利益	1,193,033
営業外収益	
受取利息及び配当金	66,041
投資事業組合運用益	6,984
その他	465
営業外収益合計	73,490
営業外費用	
支払手数料	39,306
有価証券償還損	1,603
その他	144
営業外費用合計	41,055
経常利益	1,225,469
特別利益	
固定資産売却益	3,189
保険解約返戻金	3,582
特別利益合計	6,772
特別損失	
固定資産売却損	3,461
固定資産除却損	898
特別損失合計	4,360
税金等調整前四半期純利益	1,227,881
法人税、住民税及び事業税	378,860
法人税等調整額	17,516
法人税等合計	396,376
四半期純利益	831,504
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△331
親会社株主に帰属する四半期純利益	831,835

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	831,504
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	<u>△511,132</u>
その他の包括利益合計	<u>△511,132</u>
四半期包括利益	<u>320,371</u>
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	320,702
非支配株主に係る四半期包括利益	△331

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

・収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、紹介手数料のうち将来返金されると見込まれる収益の金額について、従来は返金引当金として表示しておりましたが、返金負債を認識する方法に変更しております。

当該会計方針の変更は、原則として遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、前連結会計年度の損益に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「返金引当金」は、第1四半期連結会計期間より「その他」に含めて表示することといたしました。

・時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これによる、当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、人材紹介事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。